

第1学年 生活科学習活動案

1. 単元名 みんなだいすき ～ハッピーかぞくだいさくせん～

2. 活動にあたって

こんな子どもだから

子どもたちの家庭環境は様々で、生活スタイルも多様化しており、家族と一緒に過ごす時間をあまりもてていない子どももいる。しかし日常会話や独話活動の話の内容などから、どの子どもも家族と一緒に過ごす時間をとても楽しみにしていることがうかがえる。また、アンケートの結果、食器運びなど自分にできることは進んでやろうとし、自分の成長については意識している子どももいるようだが、身の回りのことはまだまだ家族に依存している子どもが多いのが現状である。



この単元で

本単元では、家族や家庭生活に関心をもち、家族と過ごす楽しさやよさに気付く中で、家族の一員として家族のためにできることを考え、行動できるようになることをねらいとしている。そこで、自分でできることを考え、取り組んだことを交流する場を設定し、取組について友だちからよい点を見つけてもらったり、アドバイスをしてもらったりすることを通し、自分の取組に自信をもったり、見直したり広げたりさせていきたい。更に取組を通し、家族の大切さやよさ、温かさなどに気付き、家族の一員としての自覚をもたせ、家族のため今後も取組を続けようとする意欲をもたせたい。国語科で培った「相手によく分かるようにはっきりとした声で話したり、大事なことを落とさずに最後まで聞いたりする力」を生かした意見交流の場を設定していきたい。



こんな支援で

- 一日の起床から就寝までの生活を「自分でしていること」「人にしてもらっていること」に分けて振り返らせ、自分にできることを考え取り組むようにさせる。
- 取組を「大作戦カード」に書かせ、それに家族や教師から賞賛などを書く欄を設けることで、子どもに自信をもたせ、取組や思いをみんなに伝えたいという意欲をもたせる。
- 取組や思いをワークシートに書き出したり、国語科の学習を生かし絵や実演などを取り入れたりして、聞き手に分かりやすく発表させるようにする。
- 声の大きさ・速さなどに気を付けて話したり、大事なことを落とさずに聞いたりできるように、国語科で学習した「話し方・聞き方」が振り返られる掲示物を準備する。
- 「家族のすてき」に目をむけさせ、更に取組を通しての家族とのかかわりから家族の大切さやよさ、温かさなどに気付かせ家族の一員としての自覚をもたせたい。



こんな力を

- 【関・意・態】 自分の家族や家庭生活に関心をもち、自分にできることを考え取り組もうとすることができる。
- 【思・表】 自分で考え取り組んだことや、家族に対する思いを表現することができる。
- 【気付き】 家族の大切さやよさ、温かさなどに気付き、家族の一員としての自覚をもつことができる。

3. 主な学習活動と内容、評価規準及び教師の支援（12時間）

学習過程 (配時)	主な学習活動と内容 (生かしていく国語科の表現する力)	評価規準 (評価方法)	教師の支援
つかむ (4)	<p>1. 「自分の家族のすてき」を紹介し合う。 ○ 家族で取り組んでいることの紹介の準備 ① ・がんばり・温かさ すごいことなど ○ 「家族のすてき」紹介の発表 ① (個対全体で、自分と家族とのかかわりで「すてき」なことを紹介し合う。)</p> <p>2. 家族のためにできることを考え、計画を立てる。 ○ 1日の生活のふり返り ① ○ 取組の計画立て ①</p>	<p>【関・意・態】 自分の家族に目を向け、進んで「家族のすてき」を紹介しようとする。 (発表・行動観察)</p> <p>【思・表】 家族に対する思いを話したり、絵や文で表現したり、聞いたりすることができる。 (発表・カード・表現物)</p> <p>【関・意・態】 家での一日の生活をふり返り、自分にできることややりたいことを見つけようとする。 (発表・カード)</p>	<p>※ 事前に道徳教材(ぎんのしずく)を学習し、家族のために役立ちたいという心情や態度を高めておく。</p> <p>※ 独話活動や日常会話などの中で出てきた家族の話の把握し、個々の家庭の生活背景に配慮した支援を単元を通して行うようにする。</p> <p>※ 事前に、家庭での生活の実態把握のためアンケートを取り、取組の計画を立てる際の支援に役立てる。</p> <p>※ 家庭での生活をふり返らせ、家族のために楽しく取り組めることを見つける意欲を高める。</p>
さぐる (3)	<p>家庭で「ハッピー家族大作戦」に取り組む。 ○ 各家庭で大作戦の実施</p> <p>3. 大作戦の取組をふり返り見直す。 ○ 発表カード書き ① ○ 取組の交流 ① ・困っている事、方法 工夫、思い、よい点など (グループで取組の内容や思いを交流し合う。)</p> <p>○ 大作戦の見直し ①</p> <p>家庭で「ハッピー家族大作戦」に取り組む。 ○ 各家庭で大作戦の実施</p>	<p>【思・表】 取組を言葉や動作化などで伝えたり、友だちの取組のよいところみつけなどをしながら聞いたりできる。 (発表・カード)</p> <p>【気付き】 自分や友だちの取組のよさに気付くことができる。 (発表・カード)</p> <p>【関・意・態】 意欲的に大作戦に取り組もうとしている。 (発表・カード)</p>	<p>※ 意欲をもって取り組めるように家庭で書く「大作戦カード」に教師や家族の賞賛や励ましを書く欄を設ける。</p> <p>※ 取組を交流させ友だちのよい点や友だちに教えたいことをカードに書かせ、取組に自信をもたせたり、取組を見直させたりする。</p> <p>※ 発表内容が偏らないようグルーピングに配慮する。</p>
ふり返る (5) 本時 11 / 12	<p>4. 「ハッピー家族大作戦」発表会をする。 ○ 発表会の準備 ③ ・発表原稿作り、表現物の準備、発表の練習 ○ 発表会の実施 ① 本時(11 / 12) (グループで取組の内容や思いを交流し合う。)</p> <p>5. 今後の大作戦を見通す。 ○ 今後の大作戦の見直し立てと家族へのお知らせや感謝を書く紙皿の壁かけカード作り ①</p>	<p>【思・表】 取組を文や絵や実演等で工夫して伝え、友だちの取組のよいところみつけなどをしながら聞くことができる。 (発表・カード・表現物)</p> <p>【気付き】 自分や友だちの取組のよさに気付くことができる。(発表・カード)</p> <p>【関・意・態】 今後、意欲的に大作戦に取り組もうとしている。(発表・カード)</p>	<p>※ 保護者への発表会の設定により活動への意欲を持たせる。</p> <p>※ 友だちの取組を聞いたり、取組のよさを相互評価させたりすることで、取組に自信をもち、取組を広げ、家族のために続けていこうとする意欲をもたせ、自立を考えるきっかけにさせる。</p>

4. 本 時 (11 / 12)

〇〇ルーム

5. 本時目標

- これまで取り組んできたことを、自分なりに工夫して伝えることができる。【思考・表現】
- 自分や友だちの取組のよさに気付くことができる。【気付き】

6. 本時指導の考え方

本時までには子どもたちは、家族や家庭生活に目を向け、家族のよさや大切さを意識し始めている。そして、「家族がハッピーになるために自分ができることは何だろう。」と、自分にできることを考え「これをやってみたい。」「よし、家族のためにあれをやろう。」という思いをもって実践をしてきている。その中で、「こんなことができてよかった。楽しかった。家の人からほめられてうれしかった。」「この次は、どうしたらいいかな。」などの思いをもっている。また、取組の途中で友だちと実践を交流し合い、友だちからよいところをみつけてもらうことで、自信をもったり、困ったことなどを教えてもらい自分の取組を見直したりしている。そのような中で子どもたちはこれまでの取組を誰かに話したい、聞いて欲しいといった表現意欲が高まっているといえる。そこでそれぞれの取組の内容や思いを、発表原稿にまとめたり、表現物に表したりしてきている。

本時では、これまで取り組んできたことを、自分なりに工夫して伝えたり、自分や友だちの取組のよさに気付いたりする事をねらいとしている。自分が取り組んできたことの内容や思いを発表原稿にまとめ実演したり、絵に表して発表したりすれば、聞き手に取組の内容や思いがより伝わりやすいと考える。また、聞き手には「すごいなカード」を持たせ、友だちの取組のよい点を意欲をもって見つけるようにさせる。グループで交流することで自分の取組のよい点や課題解決の糸口も見えてくると考える。そして今後さらに意欲的に取り組んだり、取組を広げたりする事もできるだろうと考える。

まず、これまで取り組んできたことやそれをまとめてきたことをふり返り、その取組のがんばりを伝えたり、友だちの取組のよいところを見つけたりしようというめあてを確かめる。ここでは、取組の様子を写真を掲示したり、保護者の賞賛や励ましなどの声をテープで流したりしてふり返らせる。また、交流の観点（大作戦の内容・工夫したこと・よいところみつけ・教えてあげたいことなど）を整理して板書する。

次に、「ハッピー家族大作戦」の取組を文や絵や実演などで発表し合い、取り組んだことの内容や課題について、よい点を見つけ合ったり困ったことなどを教え合ったりしていく。その際、友だちの取組のよい点や教えたいことを「すごいなカード」や、「おたすけカード」に書き、その都度発表者にわたすようにする。その中で自分の取組のよさに気付き自信をもったり、課題については取組を見直したりできると考える。また、友だちの発表を聞いて、自分の取組を広げるきっかけにもさせたい。また、前時までには取組の様子を把握しておき個別の支援の参考にしたい。

最後に、ふり返りカードに自分の取組のがんばりを聞き手に分かるように伝えることができたか、友だちの取組でよい点を見つけたことができたか、そのほか自分がほめられてうれしかったことなどの感想を書き、全体の場で交流していく。

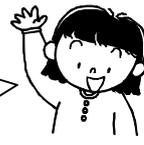
この学習では、国語科「すきなもの、おしえて」や、「みんなにしらせたいこと」で培った相手に分かるように声の大きさや速さに気を付けて話したり、大事なことを落とさずに最後まで聞いたりする力を本時のグループの話し合いや全体交流の場で生かしていきたい。

7. 準 備

(児 童) 実演する道具や絵などの表現物、発表原稿

(教 師) 仕事の様子写真、保護者の声のテープ、すごいなカード、おたすけカード
ふり返りカード

8. 本時学習の展開

主な学習活動と内容	教師の支援
<p>1. これまでの学習をふり返り、本時のめあてを確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時めあての確認 ○ 交流の内容の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">めあて</p> <p style="text-align: center;">おうちでしている だいさくせんのがんばりを みんなにつたえたり、 ともだちのだいさくせんの いいところを みつけたりしよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ※ 仕事の様子の写真を掲示したり保護者の声のテープを流したりしてふり返らせる。 ※ 発表原稿や、表現物を持たせ話す見通しをもたせる。
<p>2. グループで発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グループで大作戦を発表 <ul style="list-style-type: none"> ・ペープサートや実演や絵などを取り入れて発表 ○ 質問やよいところみつけなどの交流 <ul style="list-style-type: none"> ・自分のことは自分で <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>毎日一人でがんばって起きているよ。</p> <p>・お手伝い</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>毎日続けることができているね。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>みんなの洗濯物をたたんでいるよ。</p> <p>・家族が喜ぶこと</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>大きい洋服はたたむのが難しくない？</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>弟に寝る前にゆっくり本を読んでいるよ。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ゆっくり読むと弟は分かりやすいね。</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ※ 内容・方法・工夫・思いよい点など交流する観点を取組の様子から取組をうまく伝えることができにくい子には話し方や表現物の提示・実演の仕方などを個別に支援していく。 ※ 発表内容が偏らないようにグルーピングに配慮する。 ※ T1とT2で担当するグループを決め、前時までの取組の様子から取組をうまく伝えることができにくい子には話し方や表現物の提示・実演の仕方などを個別に支援していく。 ※ 聞き手に、カードによるところやまねしたいこと等を書かせ、取組の内容面のよさに目が向くようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">評価規準</p> <p>【思・表】 家庭で取り組んだことや思ったことを、自分なりに工夫して実演したり絵などを見せたりしながら伝えることができる。(発表・カード・表現物)</p> <p>【気付き】 自分や友だちの取組のよいところに気付くことができる。(発表・カード)</p> </div>	
<p>3. 本時の学習をふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ふり返りカードの記入 ○ ふり返りカードや感想を全体で発表 <ul style="list-style-type: none"> ・私の工夫をほめてくれてうれしかった。 ・〇〇ちゃんのやりかたをまねしたい。 ○ まとめ <p>4. 次時のめあてを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ これからの大作戦の見通し立て <ul style="list-style-type: none"> ・大作戦を見通して、家族へのお知らせと感謝カード作り 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 自分の取組のがんばりを聞き手に分かるように伝えることができたか、友だちの取組のよい点を見つけたかなどをふり返らせ、十分にできなかった児童には個別に支援していく。 ※ 次時は、今後の取組の見通しを考える。